

2013年11月22日  
( CPP-1311-A )



証券コード 6918

# 株式会社アバールデータ 第2四半期決算説明会

2013年11月22日  
アバールデータ厚木事業所

## 会社概要と業績報告

## 中期経営計画概要



1. 会社概要
2. 2014年3月期（第55期）第2四半期業績報告  
2014年3月期（第55期）通期業績予想
3. 2013年 中期経営計画概要

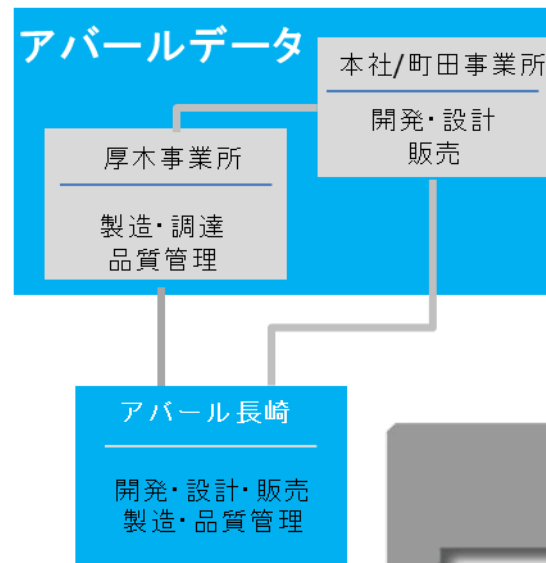
## 株式会社アバールデータ 会社概要



私たちは、お客様に「価値(value)」を提供し「信頼」を獲得します。

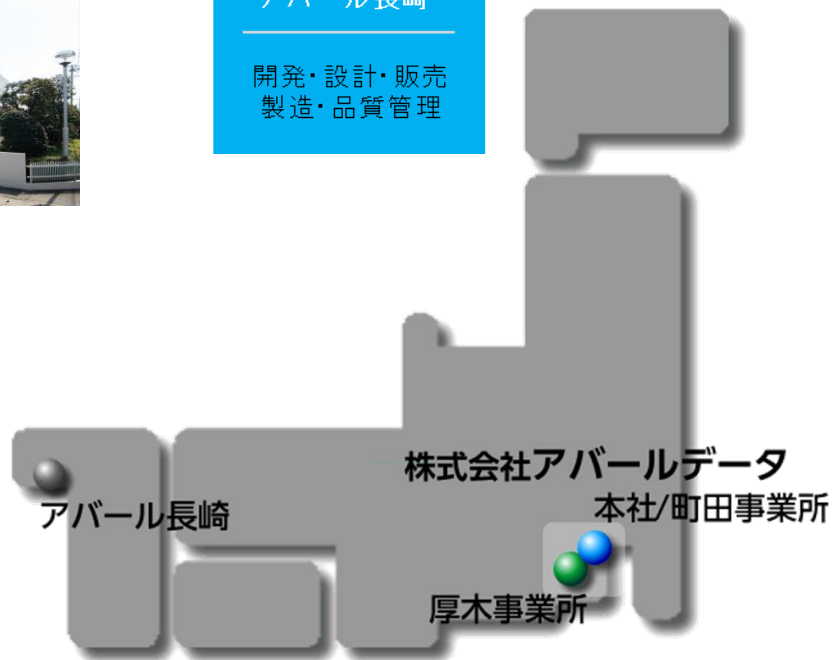
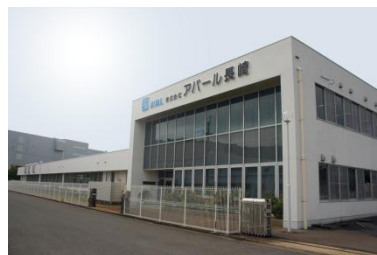
## 株式会社アバールデータ

- ★本社・町田事業所 東京都町田市
- ★厚木事業所 神奈川県厚木市
- ★設立 1959年8月
- ★資本金 23億5409万円
- ★従業員 175名
- ISO9001認証取得 (1995年)
- ISO1401認証取得 (2001年)
- 土地面積 6,426m<sup>2</sup>(町田 1,977m<sup>2</sup> 厚木 4,449m<sup>2</sup>)
- 延床面積 6,934m<sup>2</sup>(町田 2,957m<sup>2</sup> 厚木 3,977m<sup>2</sup>)



## 株式会社アバール長崎

- ★本社 長崎県諫早市
- ★設立 1987年11月
- ★資本金 1億3400万円
- ★従業員 125名
- ISO9001認証取得 (1996年)
- ISO1401認証取得 (2006年)
- 土地面積 8,885m<sup>2</sup>
- 延床面積 3,655m<sup>2</sup>



- 1959 ● 応用電子研究所を母体に東洋通信工業株式会社(東京・渋谷区)を設立
- 1979 ● 初の自社製品ポータブルタイプのPROMプログラマ「Pecker」を開発・発表
- 1987 ● 自社製品の開発・製造拠点として「株式会社アバール長崎」を設立
- 1989 ● 社名を「株式会社アバールデータ」に変更
- 1991 ● 店頭銘柄として新規登録(現 東証JASDAQ)
- 1996 ● (株)アバール長崎:CTI製品を初めて国産化
- 2002 ● 高速光通信Giga Channelを独自企画、販売開始
- 2007 ● PCI ExpressブリッジLSIを開発、自社製品への組込みと単体のサンプル出荷開始
- 2010 ● (株)アバール長崎:「スマートパワーシステム」シリーズ、販売開始
- 2010 ● PCI Expressブリッジ用高性能FPGA IPを開発 次世代自社及び受託製品への組込み開始
- 2011 ● 日本インダストリアルイメージング協会CoaXPress国際基準画像処理モジュール、販売開始
- 2012 ● 超高速光通信カメラインターフェースOpt-C: Linkを独自企画、販売開始
- 2013 ● 「医療機器製造業許可:一般」の許可取得

## アバールデータの関連事業分野と利用製品

世の中の身近な製品につながるアバール製品

**アバールデータ製品 (グループ)**

CPU モジュール  
画像入力ボード  
スマートカメラ  
CTI ボード  
スマート電源

**アバール製品が組込まれる装置 (製造装置等)**

半導体製造装置  
産業用ロボット  
分析装置  
通信機器・CTI  
検査装置  
電力・省エネ

**アバール製品が組込まれた装置から生産される様々な製品**

太陽電池  
ノートパソコン  
タブレット  
スマートフォン  
自動車

産業用装置の  
要求に応える製品

**信頼性**  
止まらない

**高速性**  
大容量データ

**長期供給**  
製品寿命

様々な使用環境

24 時間フル稼働

長期間運用

工場・公共施設など  
使用環境からの要求

## 「組み込み」製品の使用例

産業用装置は、様々な機能の製品が組み合わされて構成されます。

頭脳に相当するもの



CPU モジュール

神経に相当するもの



光通信ボード



目に相当するもの



カメラ



画像処理ボード

## 組み込みモジュール

組み込み分野で業界を  
リードする技術と製品



産業用ロボット、計測・通信機  
で活躍しています。

## 画像モジュール

画像処理ボードで国内  
トップクラスの実績



欠陥検知や位置決め等に使い  
ます。

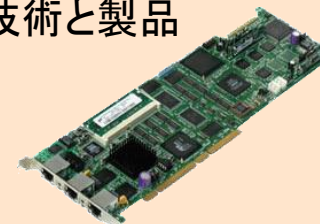
## 計測通信機器

産業用通信で最高速を  
誇るGigaチャネル



機器間の高速通信に使われ  
ます。

国内市場をリードする  
CT技術と製品



FAX,コールセンター等で  
使われています。

## 当社の社会的責任への取組み(環境・社会的貢献)

### 製品の設計

- 環境対応製品
- 製品開発
  - 有害物質排除
  - 省エネ設計

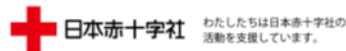
REACH  
含有有害物質

### 製品の製造

- 環境対応工場
- 工場・ものづくり
  - 有害物質排除
  - 省エネ製品

BCP  
事業継続計画

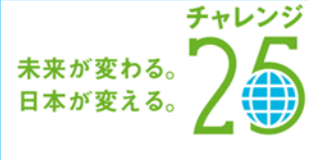
### 社会的貢献



- 地震等大規模災害支援
  - 日本ユニセフ協会への寄付
  - 日本赤十字社への寄付
  - 自治体等への寄付
- 地域のクリーンキャンペーン参加

### 環境への取組み

- 太陽光発電の導入
- 環境保護
  - CO<sub>2</sub>削減
  - 省エネ・省資源

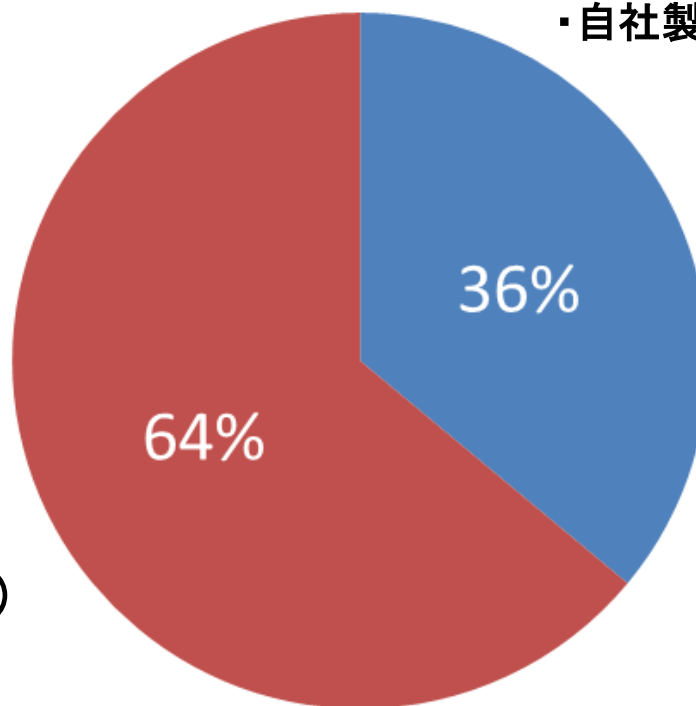




セグメント別売上比率

自社製品(1,788百万円)

- ・組込みモジュール
- ・画像処理モジュール
- ・計測通信機器
- ・自社製品関連商品



- 自社製品
- 受託製品

受託製品(3,173百万円)

- ・半導体製造装置関連
- ・産業用制御機器
- ・計測機器

2013年11月22日

(CPP-1311-2A)

# 株式会社アバールデータ

AVALue+

2014年3月期（第55期）

第2四半期 業績報告・業績予想

2014年3月期（第55期）第2四半期業績報告

[期間:2013年4月1日-2013年9月30日]

2014年3月期（第55期）通期業績予想

[期間:2013年4月1日-2014年3月31日]

2013年2月13日に通期業績修正(連結及び個別)を行っており、  
これらの該当数値を以下に使用しております。

 AVAL DATA CORPORATION

# 2014年3月期 第2四半期 業績(連結)

単位:百万円(百万円未満四捨五入)

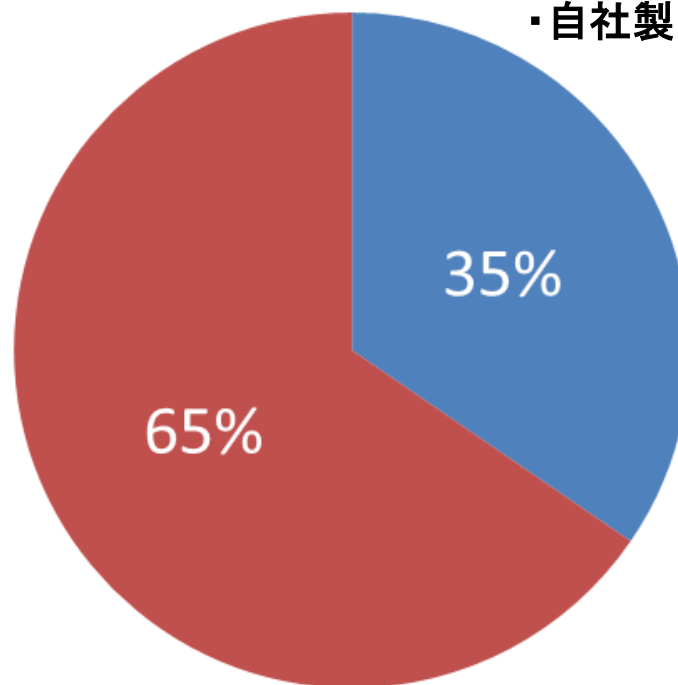
項目		第55期2013年4-9月期 (第2四半期累計)実績		第55期2014年3月期 (通期)計画	
セグメント	品目	売上	前年同期 増減率	売上	前年同期 増減率
自社製品	組込みモジュール	236	10.6 %	490	18.7 %
	画像処理モジュール	216	△ 29.2 %	475	△ 2.6 %
	計測通信機器	422	△ 1.7 %	870	13.4 %
	自社製品関連商品	94	73.7 %	185	53.6 %
	小 計	968	△ 3.4 %	2,020	13.0 %
	セグメント利益	171	47.0 %	—	—
受託製品	半導体製造装置関連	1,189	30.9 %	2,580	58.6 %
	産業用制御機器	314	△ 15.4 %	700	△ 1.8 %
	計測機器	330	△ 27.5 %	700	△ 16.1 %
	小 計	1,833	5.7 %	3,980	25.4 %
	セグメント利益	198	△ 6.8 %	—	—
売上合計		2,802	2.4 %	6,000	20.9 %
営業利益		118	23.0 %	385	—
経常利益		155	29.7 %	430	563.1 %
当期純利益		95	60.5 %	270	—

(注) 連結各セグメント利益合計369百万円と営業利益118百万円との差額252百万円はセグメントに属さない全社費用等。

セグメント別売上比率(2,802百万円)

自社製品(968百万円)

- ・組み込みモジュール
- ・画像処理モジュール
- ・計測通信機器
- ・自社製品関連商品



- 自社製品
- 受託製品

受託製品(1,833百万円)

- ・半導体製造装置関連
- ・産業用制御機器
- ・計測機器

グラフのカッコ内の数字は全売上に占める比率です。

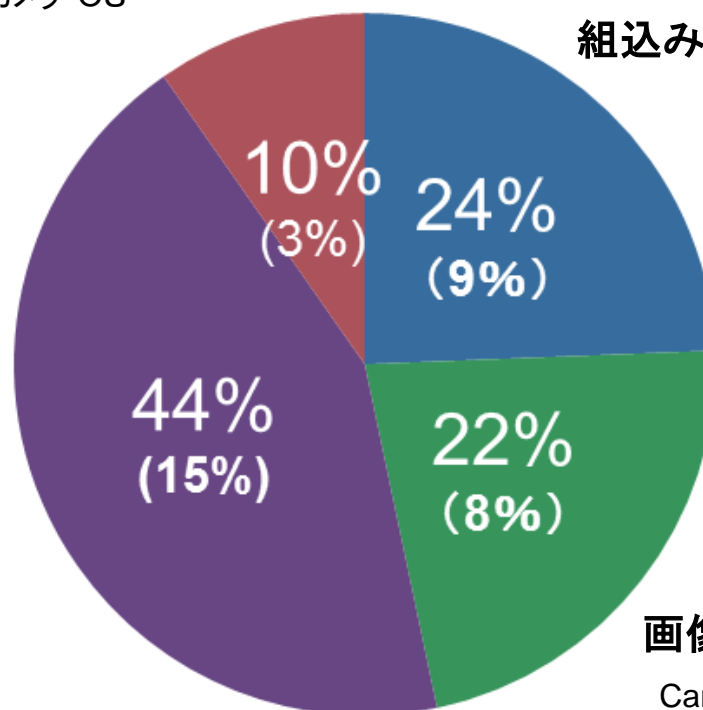
## 自社製品売上比率(968百万円)

### 自社製品関連商品(94百万円)

産業用カメラ・OS

### 組み込みモジュール(236百万円)

CPU・アナログ製品



- 組み込みM
- 画像処理M
- 計測通信機器
- 商品

### 計測通信機器(422百万円)

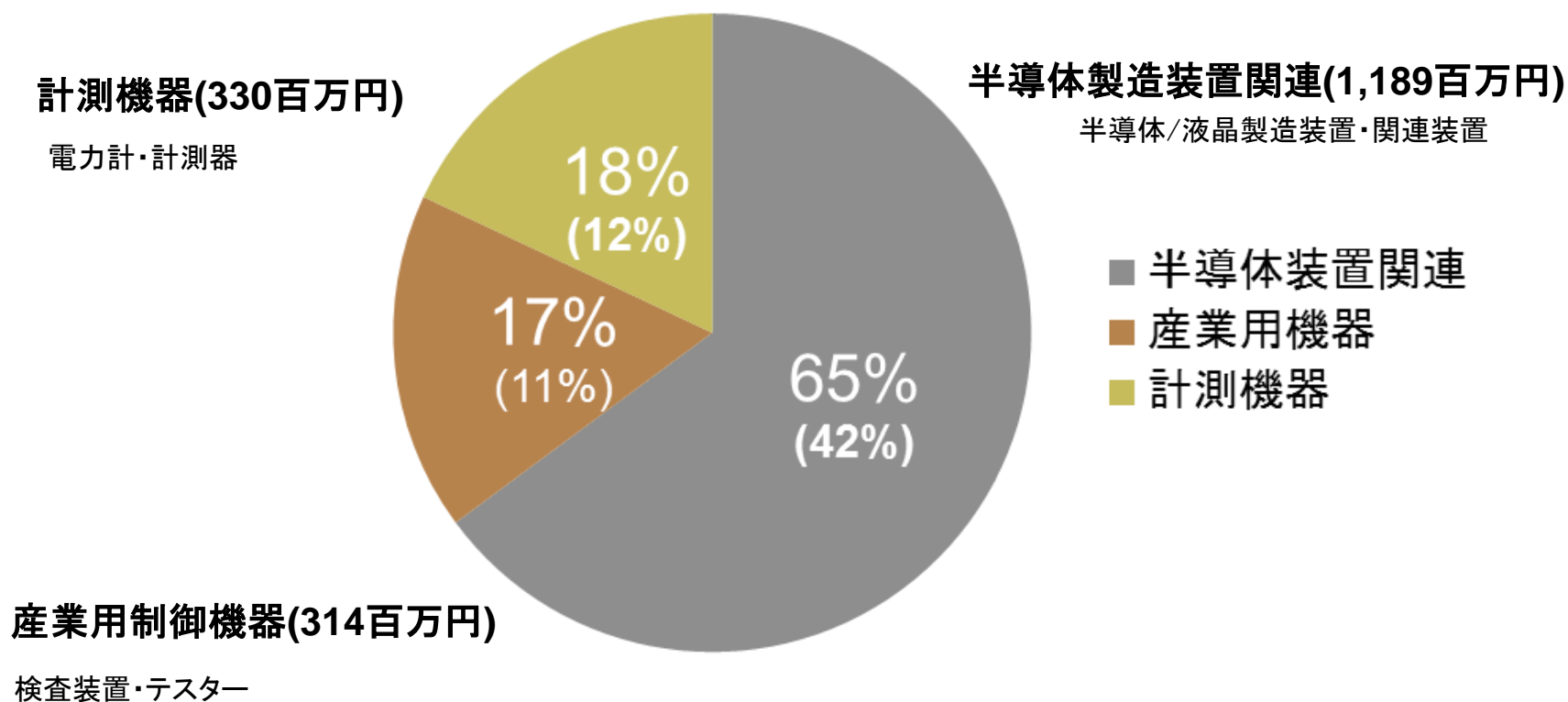
光通信(ギガチャネル)  
CTI (ファックスサーバー)

### 画像処理モジュール(216百万円)

Camera I/F・CoaxPress・GigE

グラフのカッコ内の数字は全売上に占める比率です。

## 受託製品売上比率(1,833百万円)



2500



## 組込みモジュール分野(自社製品)

- FA全般及び半導体製造装置関連の受注は回復局面、売上高は増加。

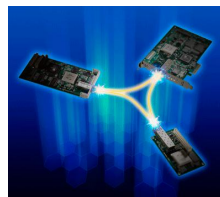
→売上高 236百万円(前年同期比10.6%増)



## 画像処理モジュール分野(自社製品)

- 新製品の立ち上がりに加え、新分野での営業開拓が順調に進んだ一方、FA全般及び液晶関連装置はいまだ本格的な回復に至らず。

→売上高 216百万円(前年同期比29.2%減)



## 計測通信機器分野(自社製品)

- 超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」は、顧客の開拓は引き続き順調。
- 一時的な需要の低迷により、売上高はわずかに減少。

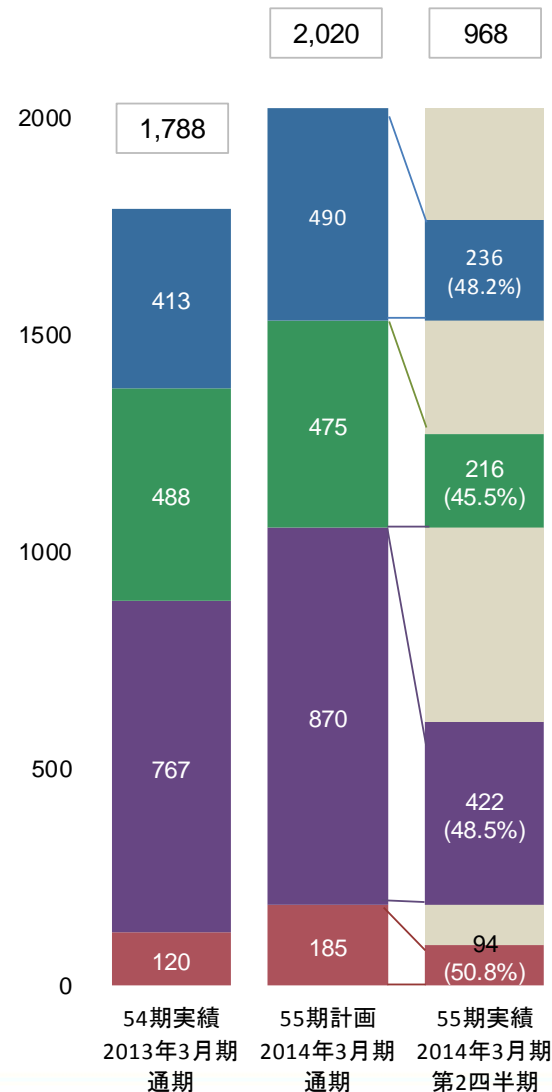
→売上高 422百万円(前年同期比1.7%減)

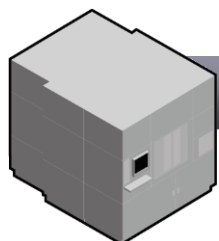


## 商品(自社製品関連)

- 自社製品関連商品は、市場の回復傾向により、売上高は大幅に増加。

→売上高 94百万円(前年同期比73.7%増)

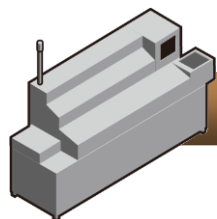




## 半導体製造装置関連分野(受託製品)

- 大手半導体メーカーのLSI微細化が続き、最先端の半導体製造装置への設備投資が再開され、売上高は大幅に増加。

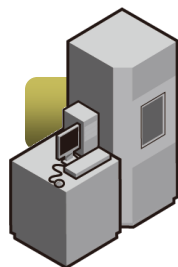
→売上高 1,189百万円(前年同期比30.9%増)



## 産業用制御機器分野(受託製品)

- 各種の産業用検査装置の受注は回復基調。社会インフラ関連が引き続き低迷し、売上高は減少。

→売上高 314百万円(前年同期比15.4%減)



## 計測機器分野(受託製品)

- 各種計測機器の受注の低迷が継続により、売上高は減少。

→売上高 330百万円(前年同期比27.5%減)

5000

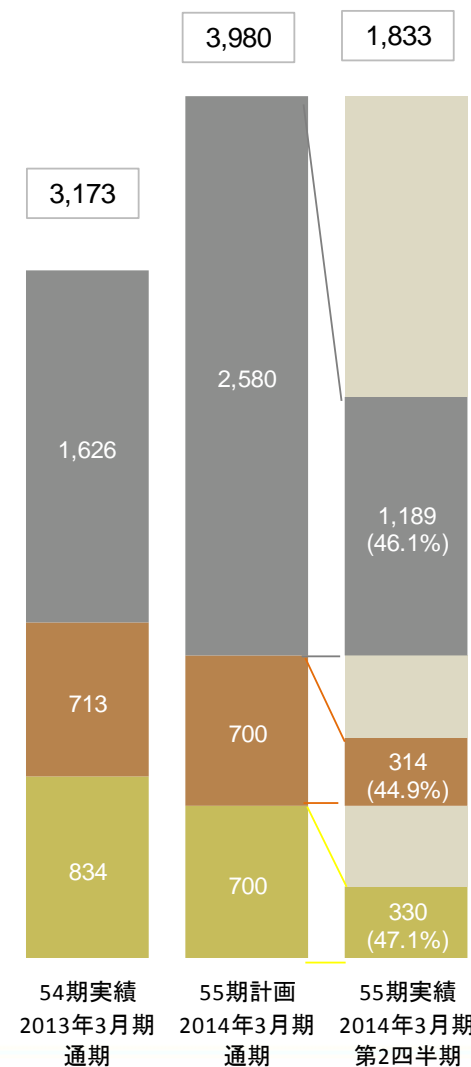
4000

3000

2000

1000

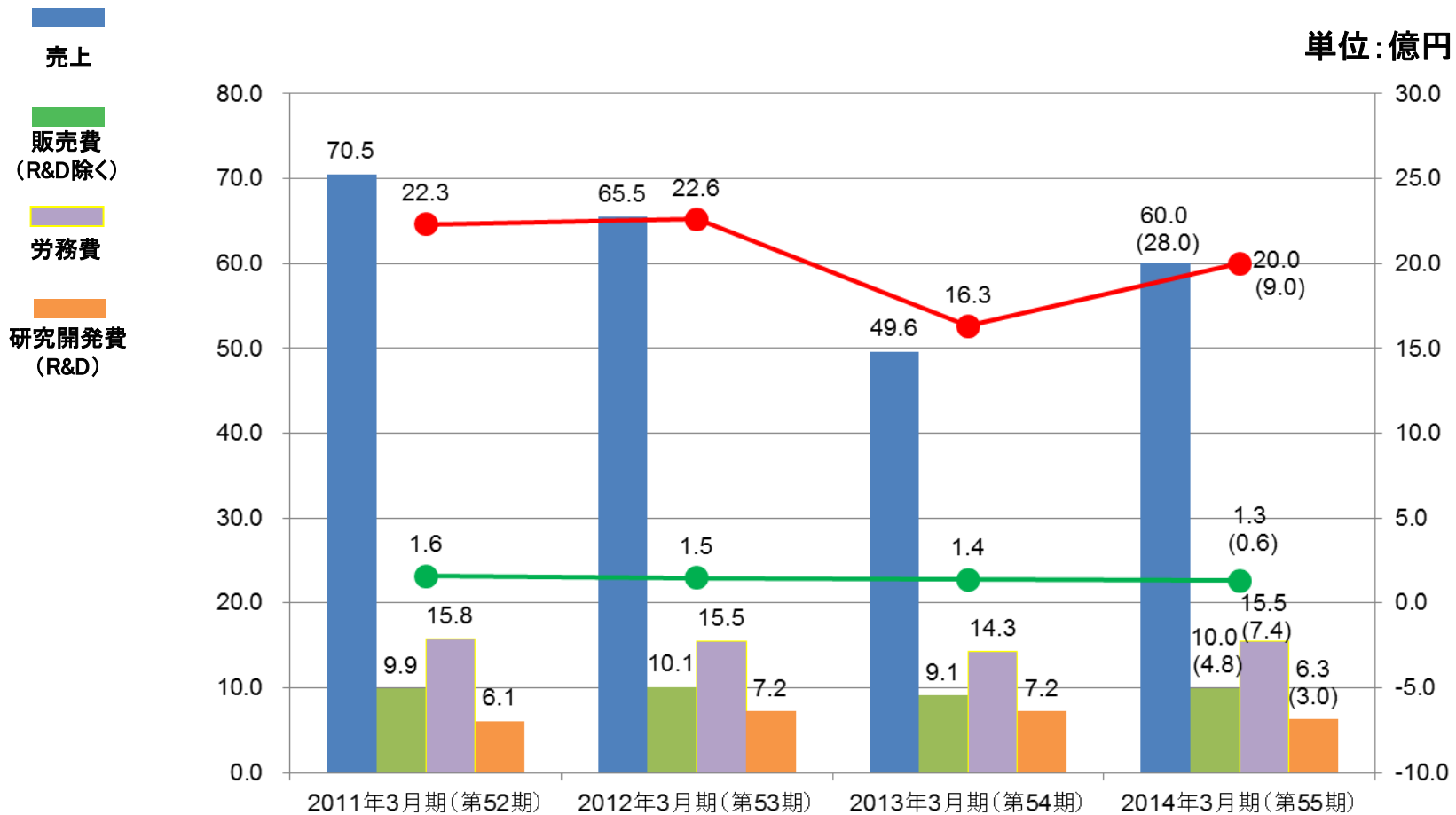
0





# 2014年3月期 第2四半期 業績(経営成績)

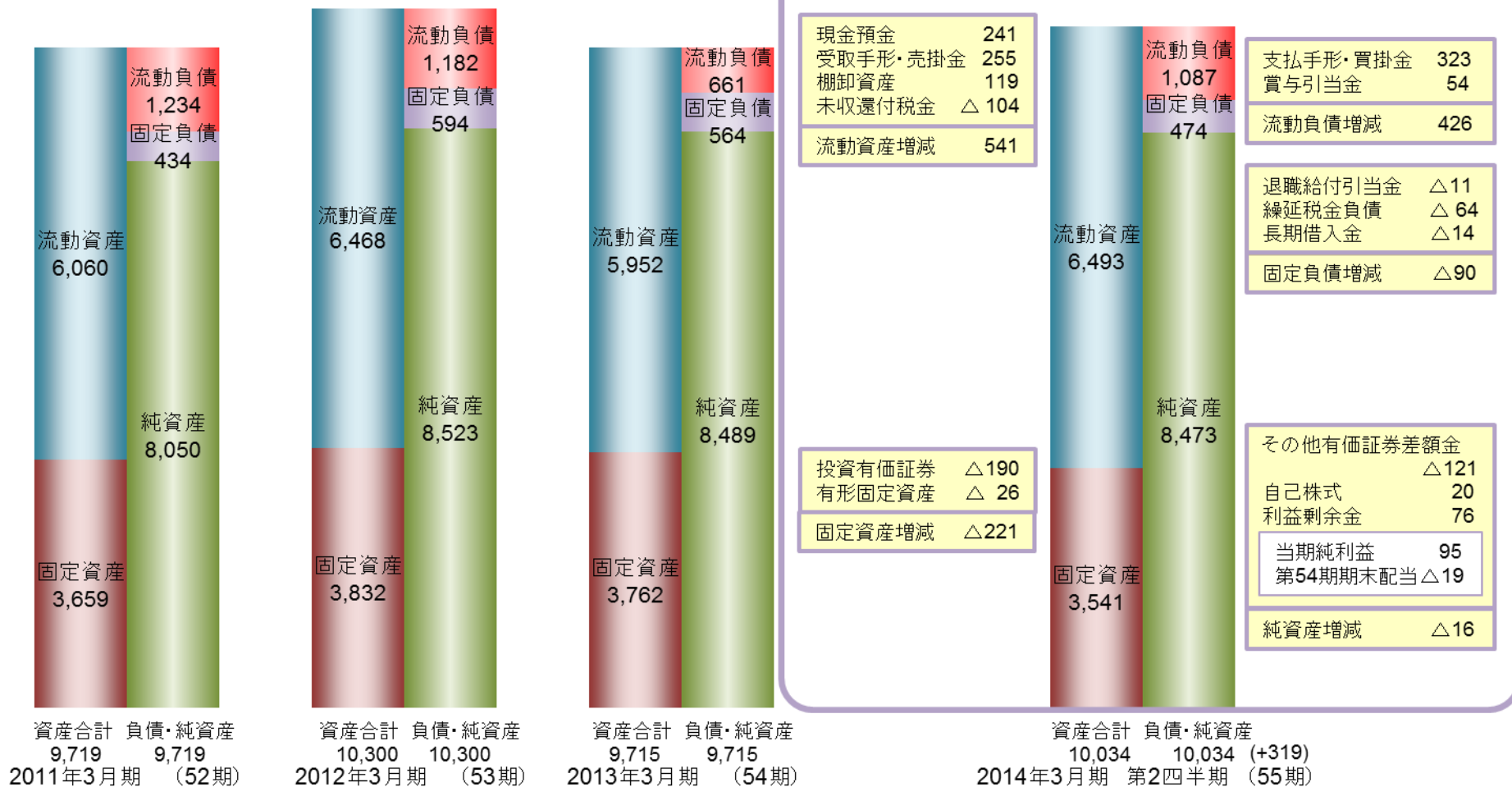
単位: 億円



上段: 計画  
下段: (実績) 第2四半期

# 2014年3月期 第2四半期 業績(財政状態)

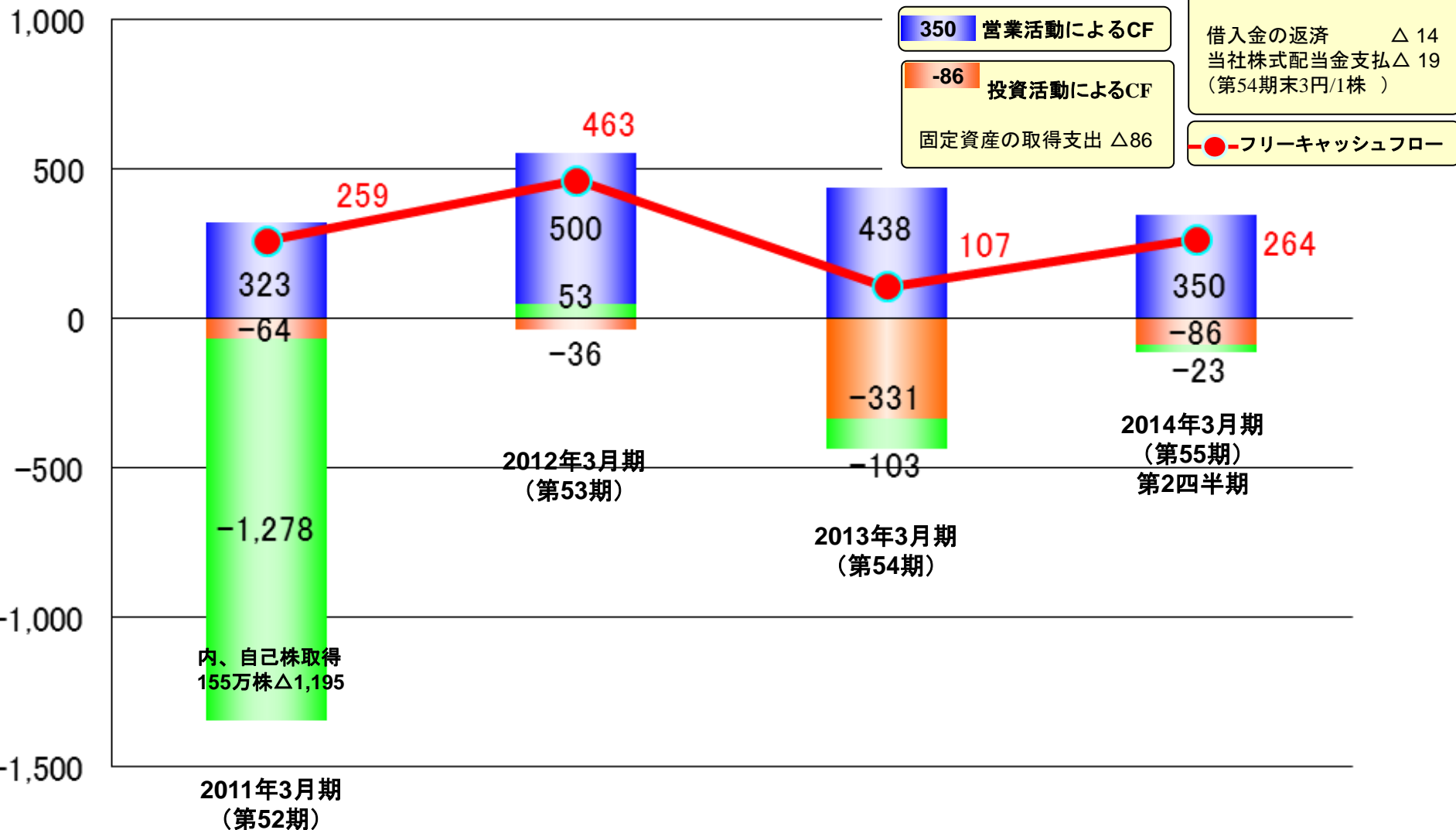
単位:百万円



# 2014年3月期 第2四半期 業績(キャッシュフロー)

単位: 百万円

2011年3月期(第52期) - 2014年3月期(第55期) 第2四半期



## 既存製品のシリーズ強化と利便性追求

### 組込

Intel 超高速MPUボード シリーズ化

APC-134シリーズ強化



### 画像

超高速画像処理ボード

APX-3326/APX-3327他



次世代カメラインターフェース 製品強化

CoaXPress対応APX-3664



### 通信

更なる高速化/ローコストシリーズ実現

16Gbit/秒 APX-782,AGM-782, APX-941 LP4



テーマよりもより高速により精細に！

## 新規分野への挑戦

アナログ⇔デジタル変換

高速アナログ⇔デジタル変換ボード

APX-5040・APX-5050



Opt-C:Link

光I/F グラバード

APX-3800・APX-3881



スマートグリッド

インテリジェント電源 大容量シリーズ

スマートパワー・システム



その他

スマートラインカメラ AMLシリーズ

スマートエリアカメラ AMAシリーズ

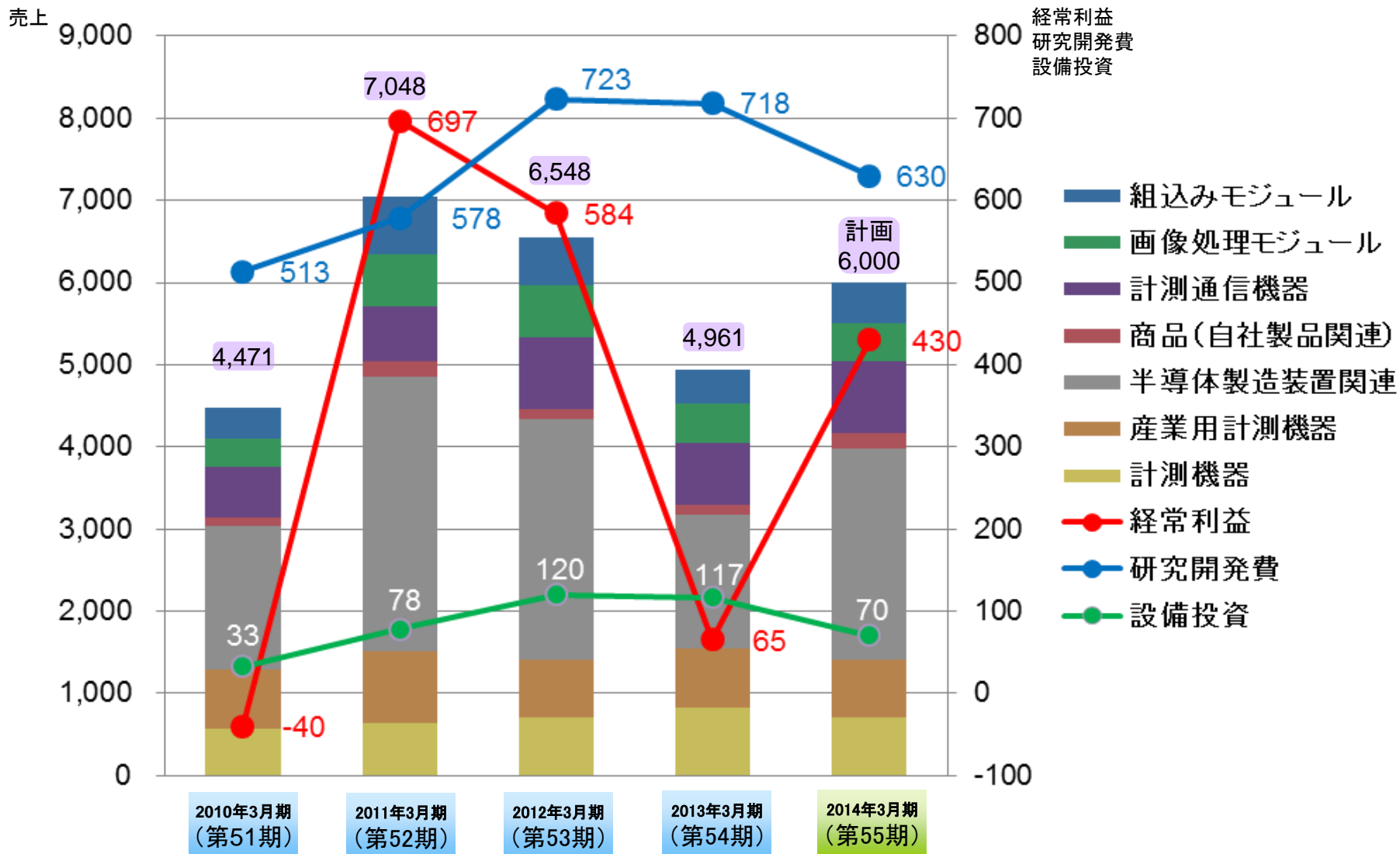
小型画像システム ASB・ASIシリーズ

FPGA-IPライブラリ

# 売上・利益・投資の推移－実績と予想

単位:百万円

2010年3月期(第51期)－2014年3月期(第55期:予想)



2013年11月22日

(CPP-1311-3A)

AVALue+

# 2013年中期経営計画概要

2014年3月期(第55期)－2016年3月期(第57期)

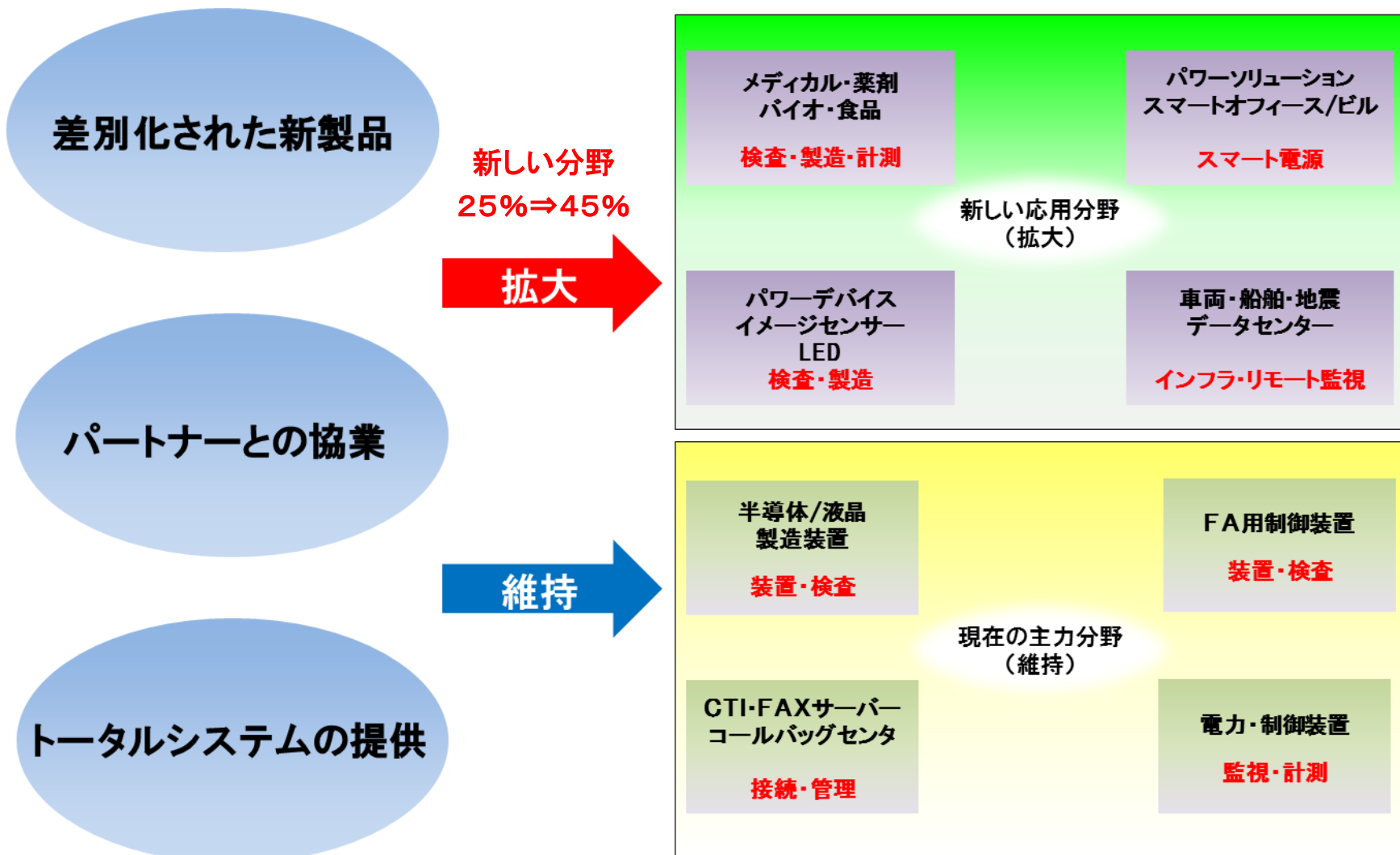
# AaA

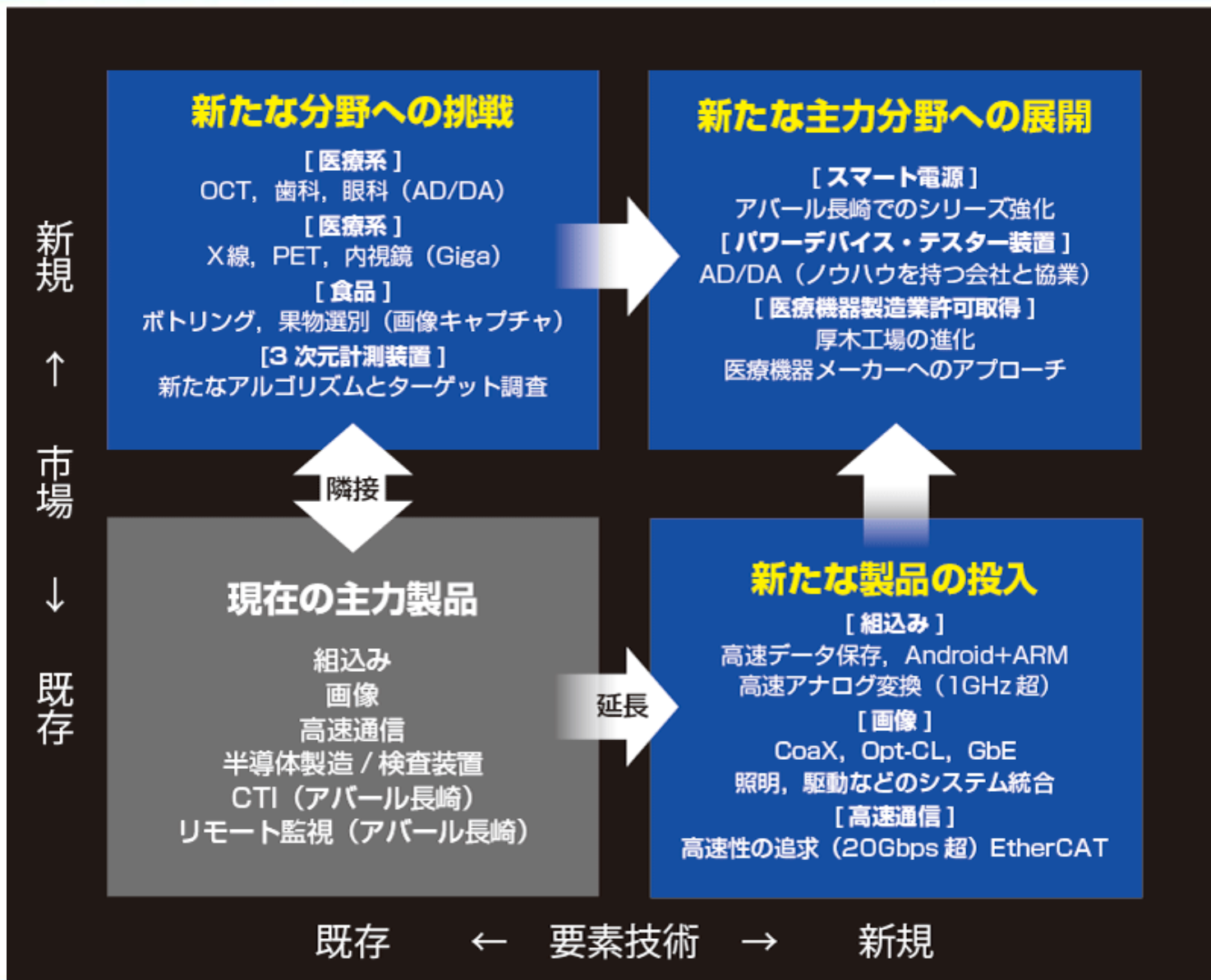
actionandachievement

実行と実現

 **AVAL DATA CORPORATION**

組込み市場の変化への対応(激変する市場環境への対応と飛躍)







# AaA

action and achievement

実行と実現

## アバールグループの新たな飛躍

### 成長事業の確立

- 製品の差別化・高付加価値強化
- 新分野と新製品の売上向上

### 体質強化

- 積極的研究開発投資と効率化
- スリムな企業体質

### 生産性の最大化

- 多様な生産体制の導入
- 業界トップの品質とコスト追求

実行と実現

連結売上

75億円

経常利益率

11%

ROE

10%

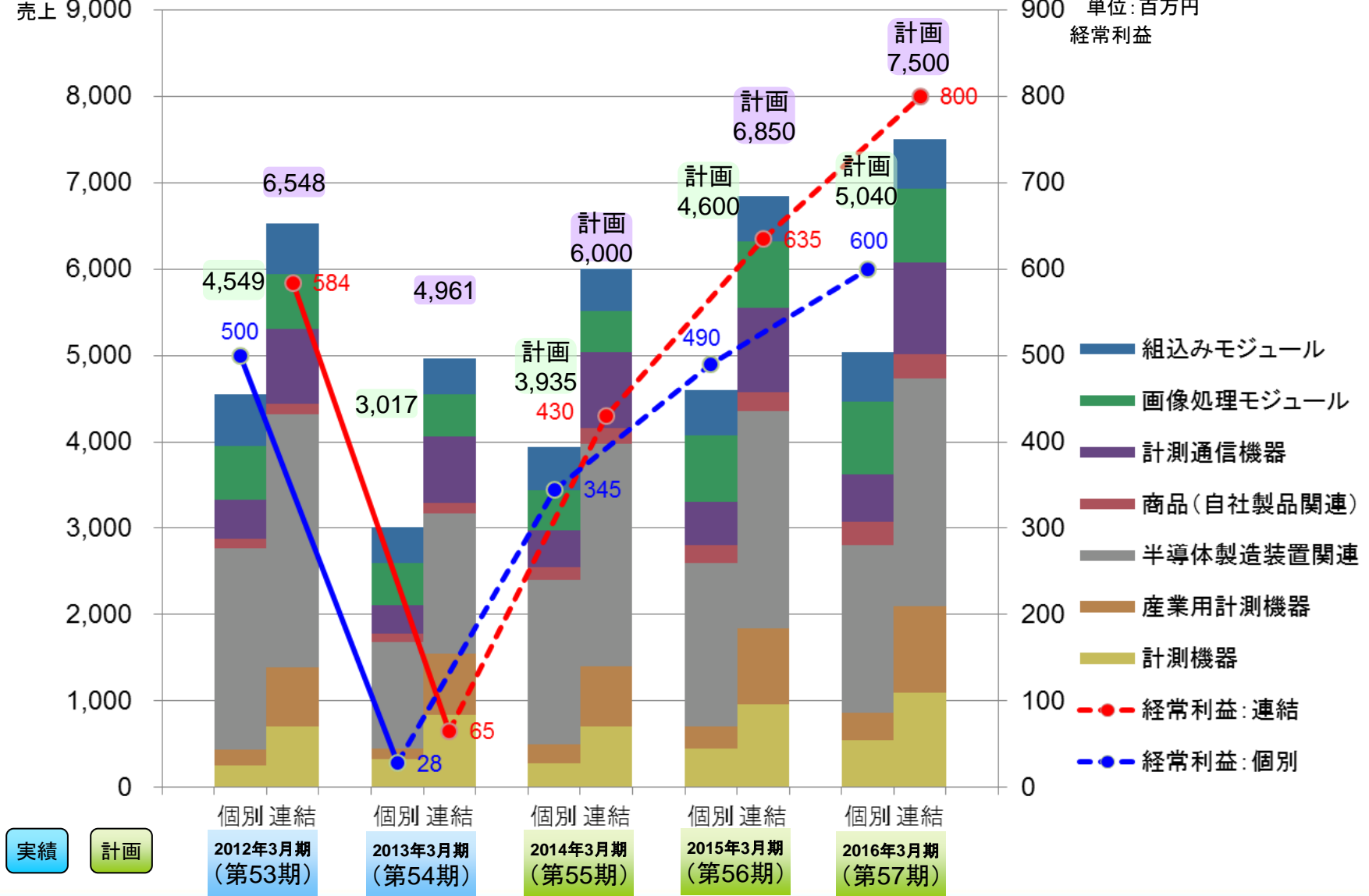
連結配当性向

30%

# 中期品目別売上・経常利益予想

単位:百万円  
売上 9,000

単位:百万円  
経常利益



実績 計画

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信等は、本資料発表日現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値とは異なる可能性があるため、本資料のみに全面的に依拠することは控えていただきますようお願い申し上げます。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

ありがとうございました。

<http://www.avaldata.co.jp>